

令和3年度 市民意識調査の調査結果活用状況（令和6年5月現在）

No.	調査内容	調査目的	現時点での活用状況	活用状況もしくは活用結果
1	「新型コロナウイルス感染症の影響」について コロナ禍における運動への意識について (健康づくり課)	コロナ禍において運動不足になったり、体力が落ちたりした人の原因及び体力維持への取り組みを知るため。結果（特に高齢者の結果）を参考に、フレイル防止に何が有効か参考にするため。	活用できた	調査の結果、フレイル防止に関する現状を把握できた。 結果を基に令和5年度より、縮小していたふなばしシルバーリハビリ体操事業をコロナ禍前の状況まで活性化させ、足腰の衰えチェック事業も対象者を大幅に拡大した。
2	「新型コロナウイルス感染症の影響」について コロナ禍における生活習慣と健康について (健康政策課)	コロナ禍における生活の変化が心身の健康にどのような影響（健康二次被害）を与えているか、実態を把握するため。	活用できた	令和4年度のふなばし健やかプラン21推進評価委員会にて、計画の推進状況とあわせ、コロナ禍における生活の変化が心身の健康にどのような影響を与えているのか、また、その対策について、今後の市の健康づくりの推進の検討の参考とした。
3	「ひきこもり」について (地域福祉課)	ひきこもり支援対象者の概数等、支援体制及び内容を検討する際の基礎となる実態及びニーズを把握し、関係課で協議して支援策について検討するため。	活用できた	令和4年度第1回ひきこもり支援調整会議の資料に活用し、有意義な議論ができた。